



POLAR VERITY SENSE



ユーザー マニュアル

目次

目次	2
Polar Verity Senseユーザー マニュアル	4
はじめに	4
Polar Verity Senseをフルに活用	4
Polar Flowアプリ	5
Polar Flowウェブサービス	5
はじめに	6
Polar Verity Senseの設定	6
設定方法の選択	6
手順A: スマートフォンとPolar Flowアプリで設定	6
手順B: FlowSyncを介してコンピュータで設定する	6
ボタン機能とLED	8
ボタンの機能	8
LEDの色と意味	8
ペアリング	9
Polar Flowアプリをペアリングする	9
スマートフォンをペアリングする前に	10
スマートフォンのペアリング:	10
Polar ウォッチとペアリングする	10
設定	11
Polar Flowアプリの設定	11
ファームウェアのアップデート	12
スマートフォンまたはタブレット経由	12
コンピュータ経由	12
センサーをリセットする	13
センサーを工場出荷時の設定にリセットする	13
トレーニング	14
Verity Senseを装着する	14
アームバンドを使って装着する	14
スイミングゴーグルを使って装着する	14
その他のセンサー装着方法	15
トレーニングモードを選ぶ	15
心拍数モードでのトレーニング	16
記録モードでのトレーニング	17
スイミングモードでのトレーニング	18
Polar Flow	20
Polar Flowアプリ	20
トレーニングデータ	20
画像の共有	20
Polar Flowアプリの使用を開始する	20
Polar Flowウェブサービス	20
「ダイアリー」	21
レポート	21
プログラム	21
同期中	21
Flowモバイルアプリと同期する	21
FlowSyncを介してFlowウェブサービスと同期する	22
重要情報	23
バッテリー	23
電池の充電	23

Polar Verity Senseのお手入れ方法	24
Polar Verity Senseを清潔に保つには	24
保管	25
アフターサービス	25
注意事項	25
トレーニング中の影響	26
健康とトレーニング	26
注意	27
Polar製品を安全にご利用いただくために	27
技術仕様	27
Polar Verity Sense	27
Polar FlowSyncソフトウェア	28
Polar Flowモバイルアプリケーションの互換性	28
Polar製品の防水性	29
規制関連情報	29
Limited Polar International Guarantee(制限付きPolar国際保証)	30
免責条項	30

POLAR VERITY SENSEユーザー マニュアル

本ユーザー マニュアルでは、Polar Verity Senseの使用方法についてご案内します。ビデオチュートリアル、よくある質問は support.polar.com/ja/verity-senseからご覧ください。

はじめに

Polar Verity Senseをお選びいただき、誠にありがとうございます。

Polar Verity Senseは、腕またはこめかみに当てて測定を行う、汎用性とクオリティの高い光学式心拍センサーです。チェストストラップ式心拍センサーや、手首型心拍計測デバイスの代わりに使用することができます。付属のアームバンドかスイミングゴーグルストラップクリップによる着用、もしくは皮膚に密着させて装着できる場所ならどこでも測定できます。Polar Verity Senseは数多くの様々なスポーツに対応。自由な動きを妨げません。Polar Verity Senseは、プールで水泳中も心拍数、距離、ペースの測定ができるという画期的なデバイスです。

センサーの内蔵メモリーにトレーニングデータを記録し、後からデータをスマートフォンに転送したり、互換性のあるデバイスに接続してトレーニング中の心拍数をリアルタイムで確認することもできます。

Polar Verity Senseは、Bluetooth® やANT+経由でデータ送信も可能です。センサーは、Polar Flowアプリを含む様々なフィットネスアプリとの接続が可能です。また、BluetoothやANT+対応のトレーニングデバイスなどと合わせて使用できます。受信可能なBluetoothデバイスで2台同時に心拍数のストリーミングができます。ANT+デバイスならば何台でも同時使用が可能です。

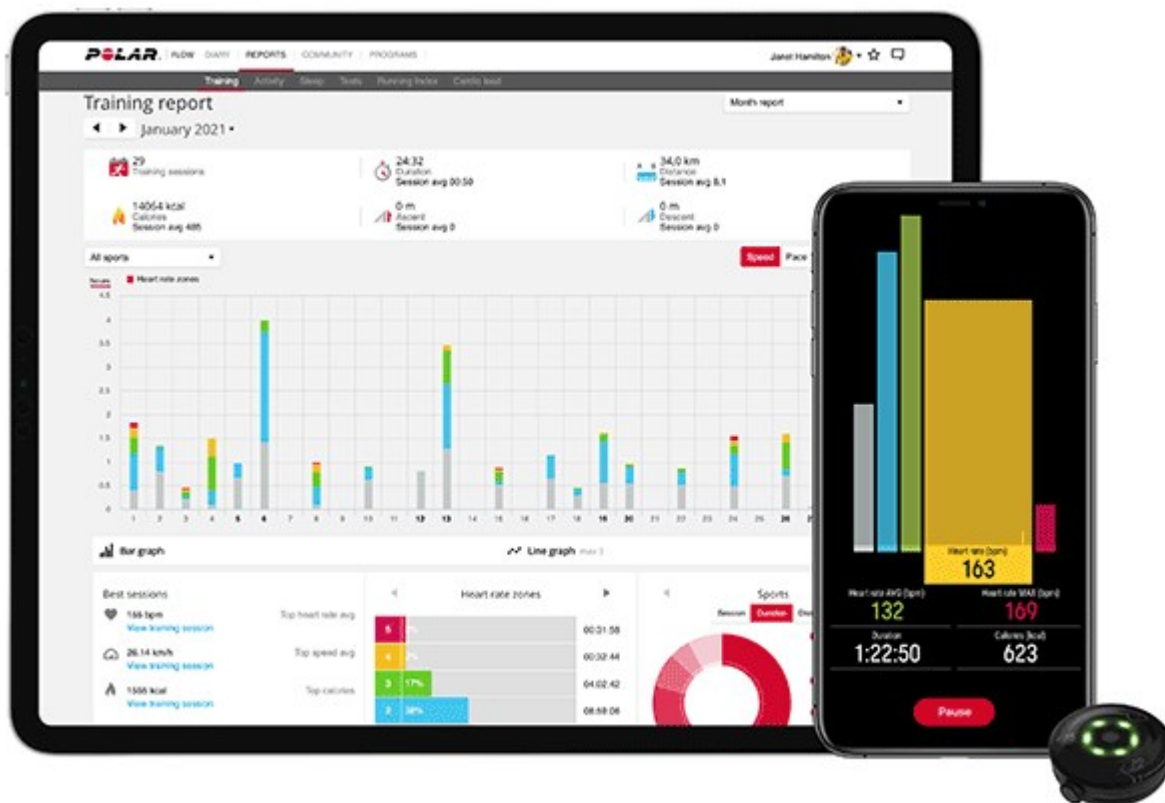
Polar Verity Senseには、洗濯機洗いもできる快適な着用感のアームバンドと、スイミングゴーグルストラップクリップ、USB充電アダプター、そして収納ポーチが付いてきます。



POLAR VERITY SENSEをフルに活用

Verity Senseの機能をフル活用するには、当社が提供する無料アプリ、ウェブサービスであるPolar Flowにまず接続してみてください。センサーがPolar Flowに接続されると、センサー1つですべてトレーニングセッションを記録することができ、セッション後にそのトレーニン

データをFlowアプリに転送することが可能になります。また、センサーの最新アップデート情報もPolar Flow経由で得ることができます。Verity SenseをPolar Flowにリンクさせるには、Polar FlowモバイルアプリまたはPolar Flowウェブサービスで設定を行います。



POLAR FLOWアプリ

App Store® またはGoogle Play™ で [Polar Flowアプリ](#) を入手できます。トレーニング後にVerity Senseをアプリと同期させると、トレーニング結果とパフォーマンスに関する概要、フィードバックを即時に取得できます。

POLAR FLOWウェブサービス

コンピュータ上のFlowSyncソフトウェアを使用して、またはPolar Flowアプリ経由で、トレーニングデータを [Polar Flowウェブサービス](#) に同期できます。ウェブサービスでは、トレーニングの計画、目標達成の状況確認、ガイダンスの取得、トレーニング結果の詳細分析の閲覧が可能です。詳しくは、flow.polar.com をご参照ください。

はじめに

POLAR VERITY SENSEの設定

Verity Senseの使用を始める前に、バッテリーを充電しておくことをお勧めします。バッテリーが完全に空の状態では、充電が開始するまでに数分かかる場合があります。バッテリーの充電に関する詳しい情報は、「[バッテリー](#)」をご参照ください。



Verity Senseのバッテリーに十分な残量がある場合、近くにある互換性のあるすべての受信機にシグナルを発し始めます。

設定方法の選択

A. **スマートフォン上**: USBポートを備えたコンピュータを使用できない場合、モバイルデバイスでの設定は有効ですが、時間がかかる場合があります。この方法にはインターネット接続が必要です。

B. **コンピュータ上**: 接続状態にあるコンピュータなら、Polar Verity Senseを充電しながら同時に設定を素早くすすめることもできます。この方法にはインターネット接続が必要です。



正確なトレーニングデータに必要なすべての身体情報をすみやかに入力し、次にPolar Verity Senseの最新ファームウェアを入手してください。

手順A: スマートフォンとPOLAR FLOWアプリで設定

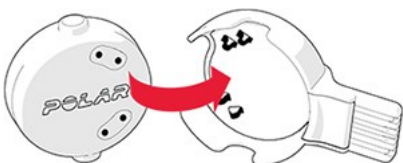


スマートフォンのBluetooth設定ではなく、Polar Flowアプリでペアリングを行う必要があることに注意してください。

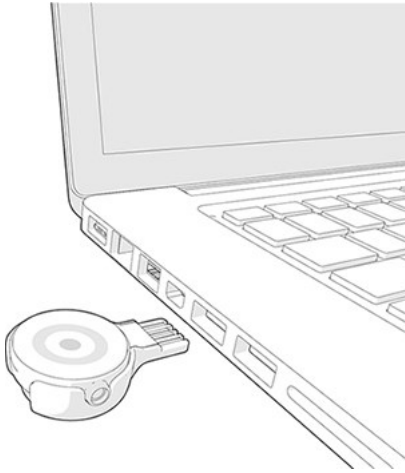
1. 設定中は、Polar Verity Senseとスマートフォンを近づけたままにしてください。
2. ご利用のスマートフォンがインターネットに接続されていること確認し、Bluetoothをオンに切り替えます。
3. Polar FlowアプリをApp StoreまたはGoogle Playから、スマートフォンにダウンロードします。
4. Flowアプリをスマートフォン上で開き、お使いのPolarアカウントにサインインするか、新規アカウントを作成します。
5. ボタンを押して、Polar Verity Senseをオンにします。
6. Flowアプリが近くのPolar Verity Senseを認識し、ペアリングを開始するようリクエストします。Polar Flowアプリで「**開始**」をタップし、画面の指示にそって手順を実行してください。

手順B: FLOWSYNCを介してコンピュータで設定する

1. センサーとUSBアダプタがしっかりとハマるよう、レンズを上向きにしてセンサーをUSBアダプタに入れます。



2. USBアダプタをコンピュータのUSBポートに接続します。



3. flow.polar.com/startにアクセスし、Polar FlowSyncデータ転送ソフトウェアをコンピュータにインストールします。
4. 既にお持ちのPolarアカウントでサインインするか、または新規アカウントを作成します。ウェブサービス内でのサインインと設定の手順をご案内します。

設定を完了すると、使用を開始できます。ぜひお楽しみください!

ボタン機能とLED

Verity Senseには、用途やその押し方によって異なるボタンの機能があります。異なるモードでボタンのどのような機能ができるか、また色ごとにLEDが持つ意味を説明します。

ボタンの機能

センサーをオン/オフにする

- ボタンを短く押して、センサーをオンにします。
- ボタンを長押しして、センサーをオフにします。

トレーニングモードを変更する

- 希望するモードの横のLRDライトが点くまで、ボタンを短く押して[トレーニングモードを選択](#)します。
- ボタンを短く押すと、現在どのトレーニングモードに固定されているかを確認することができます。サイドに点滅するステータスLEDの色は、心拍数モードの時はブルー、記録モードの時はグリーン、スイミングモードの時はホワイトとなります。

LEDの色と意味

トレーニングモードを選択する時

トレーニングモードを選択する時、サイドに点滅するステータスLEDの色は、心拍数モードの時はブルー、記録モードの時はグリーン、スイミングモードの時はホワイトとなります。LEDライトは、心拍数の測定や、現在どのモードに設定されているかを表示し、的確なトレーニングモード選びをアシストします。



詳しくは、[トレーニングモードの選択](#)をご参照ください。

バッテリー残量

- 電池残量少：レッドのLEDがゆっくりと点滅します
- 電池残量切れ間近：レッドのLEDが早く点滅します

充電中のバッテリー残量

充電中、ステータスLEDが特定の色で点滅することで、センサーのバッテリー残量を知らせます。



レッド: 0-9%

オレンジ: 10-29%

イエロー: 30-79%

グリーン: 80-99%

バッテリーがフルに充電されると、グリーンLEDがずっと点いた状態になります。



充電中スマートフォンがBluetooth接続の圏内にある場合、センサーはPolar Flowアプリと自動的に同期します。同期中はブルーのLEDが点滅します。

フィットネステスト中

パープルのLEDが、2秒ごとに点滅します。



Verity SenseでPolar フィットネステストを実施する方法は、資料[Verity Senseで行うPolar フィットネステスト](#)をご参照ください。

その他

同期中:	ブルーのLEDが点滅します
ファームウェア更新中:	ブルーのLEDが点いたままになります
エラー:	レッドのLEDが点滅します

ペアリング

POLAR FLOWアプリをペアリングする


[Polar Verity Sense](#)の項の手順に従って、スマートフォン上でPolar Verity Senseの設定を実行したら、その時点でスマートフォンとのペアリングは完了しています。

コンピューターで設定を行い、Polar Verity SenseをPolar Flowアプリと共に使用する場合は、Flowアプリとペアリングする前に、センサーを記録モードまたはスイミングモードにセットした上で、トレーニングセッションを1度実行する必要があります。


スマートフォンをペアリングする前に

- FlowアプリをApp StoreまたはGoogle Playからダウンロードします。
- スマートフォンのBluetoothをオンにし、フライトモードがオフになっていることを確認してください。
- **記録モード**または**スイミングモード**で、センサーを使ったトレーニングセッションデータを、少なくとも1回分のセンサーの内蔵メモリに記録しておく必要があります。
- **Androidユーザー**: スマートフォンのアプリケーション設定で、Polar Flowアプリの位置情報が有効になっていることを確認してください。


スマートフォンのペアリング:

 スマートフォンのBluetooth設定ではなく、Polar Flowアプリでペアリングを行う必要があることに注意してください。

1. スマートフォン上でFlowアプリを起動し、センサーの設定時に作成したPolarアカウントでサインインします。

 **Androidユーザー**: Flowアプリ対応のPolarデバイスを複数使用している場合、FlowアプリでVerity Senseが有効なデバイスとして選択されていることを、確認してください。そうすることでFlowアプリがペアリング中にセンサーとリンクします。

2. ボタンを押して、センサーをオンにします。
3. Flowアプリが、Verity Senseとのペアリングを自動的にリクエストします。スマートフォン上でBluetoothペアリング要求を承認します。

 Polar Verity SenseとPolar Flowアプリを合わせて使うことを推奨しますが、他のアプリを使用することも可能です。センサーを他社のアプリとペアリングする手順は、アプリ開発者の指示に従ってください。

POLAR ウォッチとペアリングする

具体的なペアリングの手順はsupport.polar.comのPolarウォッチ ユーザー マニュアルをご参照ください。

設定

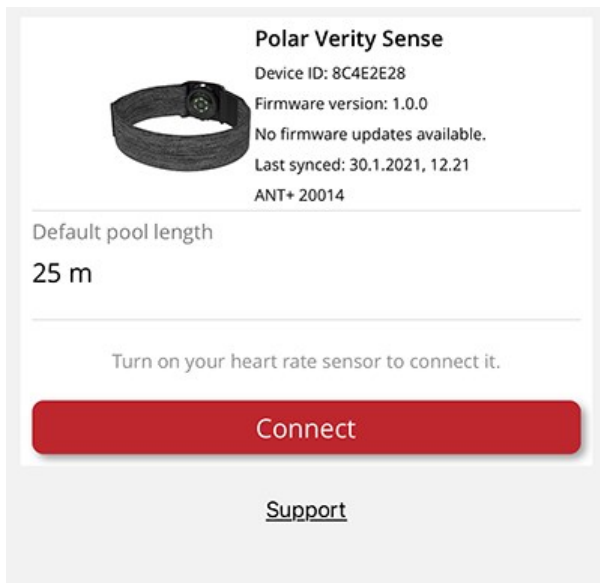
POLAR FLOWアプリの設定



Polar FlowアプリのVerity Senseの設定を編集する前に、センサーとアプリをペアリングして下さい。詳しくは[ペアリング](#)をご参照ください。

Flowアプリで**デバイス**に進み、複数のPolarデバイスを持っている場合は、ここでPolar Verity Senseを選択します。

Polar Flowアプリと接続するためにセンサーをオンにして、設定画面を表示させます。



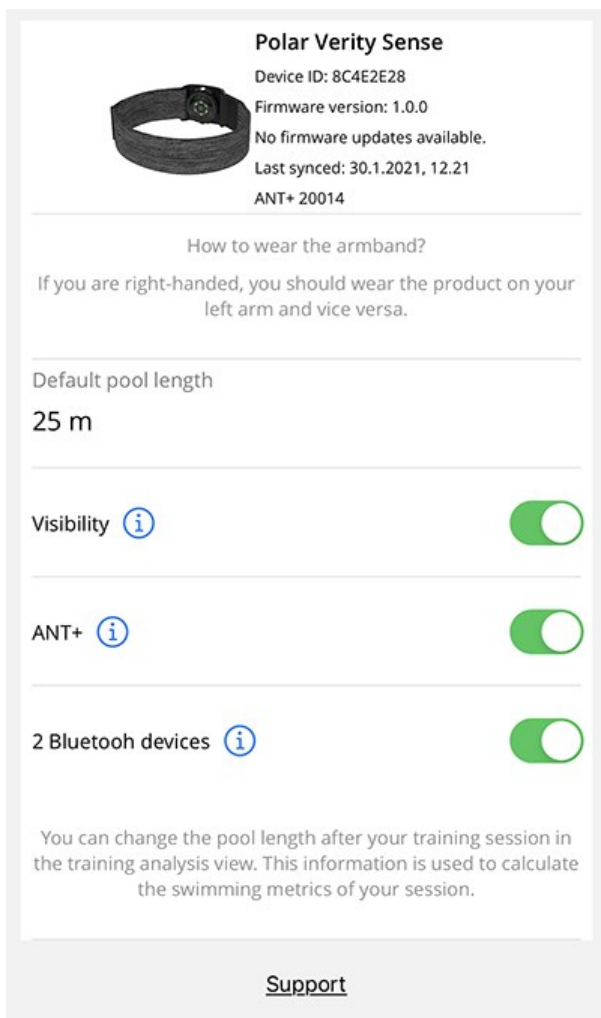
以下の設定を編集できます：

プールの長さのデフォルト設定: スイミング中の距離とペースを算出するベースとなる、プールの長さのデフォルト値を設定します。注：必要であればスイミングセッション後に、Flowアプリのトレーニング分析画面から、プールの長さを変更することができます。スイミングメトリクスもその変更内容に従い更新されます。

可視性: 可視性を選択し、使用中のセンサーを、互換性のある他のデバイスが探知できるよう設定します。

ANT+: ANT+心拍シグナルを「オン」または「オフ」に切り替えます。

2x受信BLEデバイス: 例えばPolarウォッチとジム器具など、お使いのセンサーが、ライブ心拍数データを2台の受信BLEデバイスに同時に送信できるよう、ここで設定します。



ファームウェアのアップデート

Polar Verity Sense を最新の状態で維持し、性能を最大限に高めるため、新しいバージョンがリリースされたら、常にファームウェアを更新してください。ファームウェアをアップデートすると、センサーの機能が向上します。



ファームウェアのアップデートにより、データが消えることはありません。アップデート開始前に、Verity SenseのデータをFlowアカウントに同期されます。

スマートフォンまたはタブレット経由

Polar Flowモバイルアプリを使用して、スマートフォンからファームウェアをアップデートすることもできます。利用可能なアップデートがあると、アプリが通知し、ガイドします。アップデートがスムーズに実行できるよう、アップデート開始前にセンサーを電源に接続しておくことをお勧めします。



ワイヤレスでのファームウェアアップデートには、接続環境によって最大20分かかることがあります。

コンピュータ経由

新しいファームウェアがリリースされる度に、Verity Senseをコンピュータに接続したタイミングでFlowSyncから通知が届きます。ファームウェアのアップデートは、FlowSyncソフトウェア経由でダウンロードされます。

ファームウェアのアップデート方法:

1. センサーとUSBアダプタがしっかりはまるよう、レンズを上向きにしてセンサーをUSBアダプタに入れます。
2. USBアダプタをコンピュータのUSBポートに接続します。
3. FlowSyncがデータの同期を開始します。
4. 同期の終了後、ファームウェアのアップデート実行について確認されます。
5. 「はい」を選択します。新しいファームウェアがインストールされます(最大10分かかる場合があります)。ファームウェアのアップデートが完了するまでVerity Sensをコンピュータから取り外さないでください。

センサーをリセットする

Polar Verity Sense センサーに何か不具合が生じた場合、工場出荷時の状態にリセットすることができます。注:リセットによりすべての個人データと設定がセンサーから消去されるため、個々の使用環境に合わせて再設定をする必要があります。ご了承ください。センサーからFlowアカウントに同期されたデータはすべて安全に保存されます。

センサーを工場出荷時の設定にリセットする

1. flow.polar.com/start にアクセスして、Polar FlowSync データ転送ソフトウェアをコンピュータにダウンロードして、インストールします。
2. センサーとUSBアダプタがしっかりはまるよう、レンズを上向きにしてセンサーをUSBアダプタに入れます。
3. FlowSyncで設定を開きます。
4. 「工場出荷時設定にリセット」ボタンを押します。
5. Flowアプリで同期する場合は、スマートフォンでペアリング済みのBluetoothデバイスのリストを確認し、使用中のセンサーがリスト内にある場合は忘れずに削除してください。

モバイルまたはコンピュータ経由で、ここでまたセンサーを**設定**しなおす必要があります。設定には、リセットする前に使用していたものと同じPolarアカウントを使用するようにしてください。

トレーニング

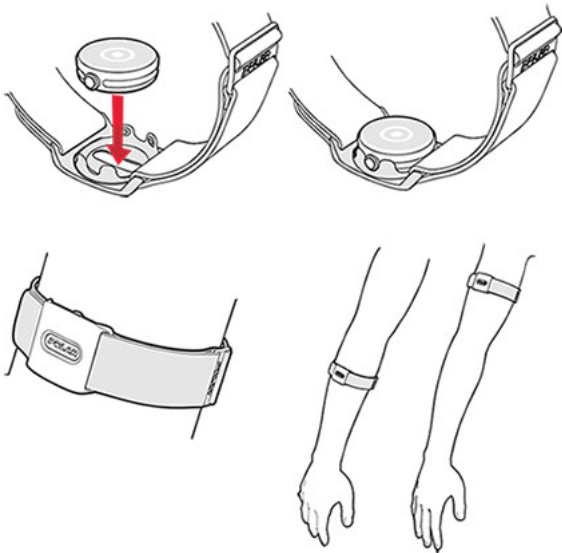
VERITY SENSEを装着する

Polar Verity Senseは、スポーツの種目に関係なく、自由な動きを可能にします。センサーは、アームバンドかスイミングゴーグルストラップクリップを使うか、皮膚に密着させることが可能な場所に着用することで、測定を実行できます。

アームバンドを使って装着する

アームバンドを使って心拍数を正確に測定するためには、Verity Senseを手首ではなく前腕または上腕にぴったりと装着する必要があります。

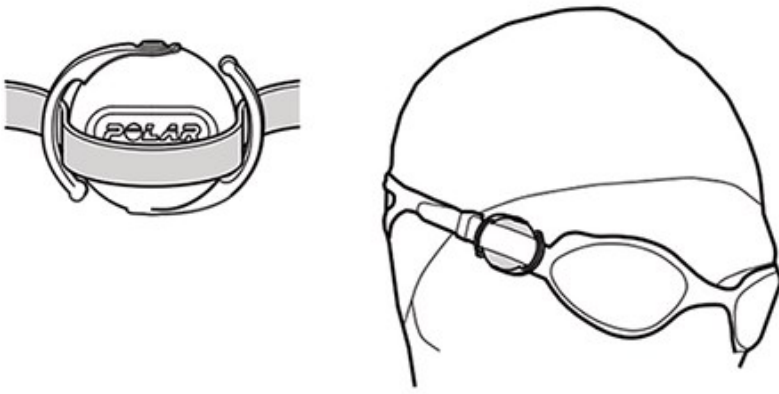
1. レンズを上に向けて、センサーをアームバンドホルダーに置きます。
2. アームバンドを装着して、センサーがアームバンドの裏側になるようにしてください。
3. 前腕または上腕の周りにVerity Senseを取り付けたアームバンドを装着してください。



スイミングゴーグルを使って装着する

プールでのスイミングに特化したスイミングモードに設定しておけば、Verity Senseが心拍数、距離、ペースを自動的に記録します。距離とペースは、設定したプールの長さで記録されたターン数を基準に算出されます。センサー内蔵のジャイロスコープがターンを検知します。最も正確にスイミングメトリクスのデータを得るには、下記の手順に従って、センサーを正しく装着できているかが重要となります。センサーを正しくない方法で装着すると、水泳中に収集されるデータには誤差が生じます。

1. レンズを上に向けて、センサーをスイミングゴーグルストラップクリップに設置します。
2. クリップをセンサーをスイミングゴーグルストラップに取り付けます。クリップをスイミングゴーグルストラップに取り付けます。センサーが右側のこめかみの上に来るように装着し、ボタンが上向きであることを確認します。



3. レンズがこめかみの皮膚に直接触れるように装着します。センサーと皮膚の間に髪の毛が入らないようにして、できるだけこめかみから離れたところにセンサーを装着してください。

その他のセンサー装着方法

快適に着用でき、正確に測定を実行できると思われる場所ならどこでもVerity Senseを装着することができます。タイトな服の下などに装着し、センサーがぴったりと皮膚に接していることを確認してください。異なる場所での精度は、人により異なることに注意してください。

センサーは、ホルダーの穴から押し出して簡単に外すことができます。



またはホルダーからアームバンドを外し、そのホルダーを使って、実行中のスポーツに合った都合の良い箇所にセンサーを装着してください。



センサーを固定させる目的の他にも、アームバンドとスイミングゴーグルストラップクリップは、シグナルを増強するアンテナとしての機能も果たします。Bluetooth伝送範囲が大幅に広がります。伝送範囲を最大限に拡大するには、センサーを、アームバンドホルダーまたはスイミングゴーグルストラップクリップに入れたままにします。Bluetooth伝送範囲についての詳しい説明は、[技術仕様](#)をご参照ください。

トレーニングモードを選ぶ

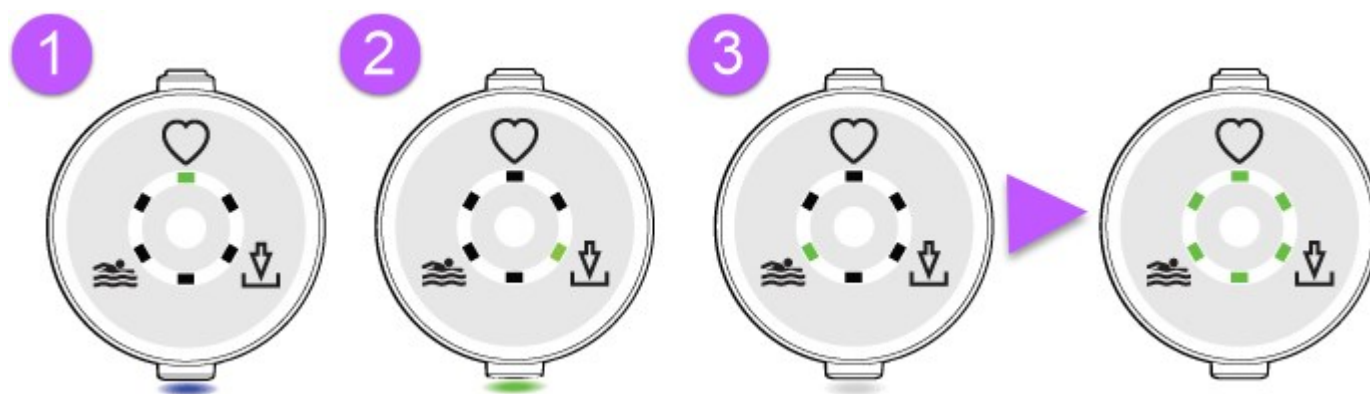
Polar Verity Senseのトレーニングは、心拍数モード、記録モード、スイミングモードの3つです。



センサーを記録モード、スイミングモードで使用する前に、予めPolar Flow アカウントをリンクさせておいてください。設定の段階で、この処理が行えます。[Verity Senseの設定方法](#)の指示通りにセンサーの設定が完了していない場合は、心拍数モードのみ使えます。

1. **心拍数モード**では、互換性のあるデバイスやアプリに接続してトレーニングセッション中の心拍数をリアルタイムで確認することもできます。詳しくは、[心拍数モードでのトレーニング](#)をご参照ください。
2. **記録モード**では、トレーニングセッションのデータをセンサーの内蔵メモリーに保存し、そのトレーニングデータを後でFlowアプリかウェブサービスに転送することができます。詳しくは、[記録モードでのトレーニング](#)をご参照ください。
3. **スイミングモード**では、プールでの水泳中に、心拍数、距離、ペースをセンサーが自動的に記録・保存します。詳しくは、[スイミングモードでのトレーニング](#)をご参照ください。

モードは、センサーをオンにし、希望するモードの横のLEDライトが点くまでボタンを短く押して選択します。モードを選択後、6つのLEDライトが同時に点灯するまで待ちます。これでセンサーがデータ測定を始める準備ができました。センサーを[装着してさっそく](#)トレーニングを始めましょう。注意：このモードはこの時点でロックされています。センサーを一度オフにし再度オンにしない限り、ロックを解除することはできません。



心拍数モードでのトレーニング



デフォルト設定では、センサーがBluetoothとANT+を介して同時に心拍シグナルを送信します。必要であれば、[Polar Flowアプリの設定](#)画面から、ANT+心拍シグナルの送信を無効にできます。Polar Flowアプリではまた、Bluetoothのデュアル設定をオンに切り替え、センサーを他2台のデバイスと同時に使えるよう設定することができます。例えば、互換性のあるジム機器とPolarウォッチを使う時に、その両方のデバイスで、リアルタイムの心拍数をチェックできます。

開始前に、Verity Senseがお持ちのPolarアプリやウォッチとペアリング済みであることを確認して下さい。詳しくは[ペアリング](#)をご参照ください。

1. ボタンを押して、Verity Senseをオンにします。
2. 心拍数モードを選択するには、ハートのアイコンの横のLEDライトが点くまで、ボタンを短く押します。心拍数モードを選択する時、サイドに点滅するステータスLEDの色は、ブルーとなります。



3. モードを選択後、6つのLEDライトが同時に点灯するまで待ちます。これでセンサーの心拍数測定を始める準備ができました。



4. センサーを装着しPolarウォッチまたはアプリからセッションを開始します。

トレーニングセッションが終了したら、Polarトレーニングデバイスまたはアプリで記録を停止できます。Verity Senseをオフにするには、ライトが消えるまでボタンを長押ししてください。ウォッチをFlowアプリかウェブサービスに同期して、トレーニングセッションの詳細を表示させます。

記録モードでのトレーニング



Polar Verity Senseを使ってトレーニングセッションを記録する前に、登録してPolar Flowアカウントにリンクさせる必要があります。設定の段階で、この処理が行えます。詳しくは、[Verity Senseの設定方法](#)をご参照ください。

1. ボタンを押して、Verity Senseをオンにします。
2. 記録モードを選択するには、矢印のアイコンの横のLEDライトが点くまで、ボタンを短く押します。記録モードを選択する時、サイドに点滅するステータスLEDの色は、グリーンとなります。



3. モードを選択後、6つのLEDライトが同時に点灯するまで待ちます。これでセンサーの心拍数測定を始める準備ができました。



4. センサーを装着しトレーニングセッションを始めます。

トレーニングセッションが終了したら、ライトが消えるまでボタンを押すと記録を停止することができます。その後、トレーニングセッションをPolar Flowアプリとウェブサービスに同期して、トレーニングセッションの詳細を表示します。



スマートフォンがBluetooth接続圏内にある場合、記録を停止するとセンサーがFlowアプリと自動的に同期します。詳しくは、[同期する方法](#)をご参照ください。



トレーニングセッションで記録モードを使うと、そのデータは**その他の室内**スポーツプロフィールに保存されます。スポーツプロフィールを変更する時は、Polar Flowアプリのスポーツプロフィールのアイコンをタップして切り替えます。

スイミングモードでのトレーニング



Polar Verity Senseを使ってスイミングセッションを記録する前に、登録してPolar Flowアカウントにリンクさせる必要があります。設定の段階で、この処理が行えます。詳しくは、[Verity Senseの設定方法](#)をご参照ください。

プールでのスイミングに特化したスイミングモードに設定しておけば、Verity Senseが心拍数、距離、ペースを自動的に記録します。距離とペースは、設定したプールの長さで記録されたターン数を基準に算出されます。センサー内蔵のジャイロスコープが水泳中のターンを検知します。**最も正確にスイミングメトリクスのデータを得るには、センサーを正しく装着できているかが大変重要となります。**装着の手順については、[Verity Senseを装着する](#)をご参照ください。

1. ボタンを押して、Verity Senseをオンにします。
2. スイミングモードを選択するには、スイミングのアイコンの横のLEDライトが点くまで、ボタンを短く押します。スイミングモードを選択する時、サイドに点滅するステータスLEDの色は、ホワイトとなります。



3. モードを選択後、6つのLEDライトが同時に点灯するまで待ちます。これでセンサーの心拍数測定を始める準備ができました。



4. [センサーを装着し](#)トレーニングセッションを始めます。



トレーニングセッションが終了したら、ライトが消えるまでボタンを押すと記録を停止することができます。その後、トレーニングセッションをFlowアプリかウェブサービスに同期して、トレーニングセッションの詳細を表示させます。



スマートフォンがBluetooth接続圏内にある場合、記録を停止するとセンサーがFlowアプリと自動的に同期します。詳しくは、[同期する方法](#)をご参照ください。



必要であればスイミングセッション後に、Flowアプリのトレーニング分析画面から、プールの長さを変更することができます。スイミングメトリクスもその変更内容に従い更新されます。

POLAR FLOW

POLAR FLOWアプリ

Polar Flowモバイルアプリでは、トレーニングやアクティビティデータのビジュアル解析を即時に閲覧できます。またアプリ内でトレーニングプランを立てることもできます。

トレーニングデータ

リアルタイムで心拍数をチェックしながらトレーニング、ルートや距離を記録し、トレーニングごとに個人向けのフィードバックを取得することができます。詳しくはサポート書類の[Polar Flowアプリでトレーニングセッションを記録する](#)をご参照ください。

Polar Flowアプリでは、過去のセッションや予定中のトレーニングセッション情報に気軽にアクセスできます。

トレーニングの概要や、パフォーマンスの詳細分析をすぐにチェックできます。トレーニングダイアリーで週ごとのトレーニングの概要を表示します。トレーニング中のハイライトシーンを、画像シェア機能で友達と共有する楽しみ方もあります。

画像の共有

Polar Flowアプリの画像共有機能を使えば、トレーニングデータを添付した画像を、一般的なソーシャルメディア(Facebook、Instagramなど)で公開することができます。保存済みの写真、またはその場で撮影した写真を選べます。トレーニングデータを添えてカスタマイズすることも可能です。トレーニングセッション中にGPS記録機能をオンにしていた場合は、トレーニングルートのスナップショットも共有できます。

説明ビデオはこちらのリンクをクリック:

[Polar Flowアプリ | トレーニング結果の写真を共有する](#)

POLAR FLOWアプリの使用を開始する

モバイルデバイスとFlowアプリを使って[センサーの設定](#)ができます。

Polar Flowアプリは、App StoreかGoogle Playからモバイルデバイスにダウンロードします。

新しいモバイルデバイス(スマートフォン、タブレット)を使用する際には、はじめにセンサーとペアリングする必要があります。詳しくは[ペアリング](#)をご参照ください。

スマートフォンがBluetooth接続圏内にある場合、トレーニング後に記録を停止するとセンサーがFlowアプリと自動的に同期します。スマートフォンがインターネットに接続されている場合にも、トレーニングデータは自動的にFlowウェブサービスに同期されます。

Flowアプリは、トレーニングデータをセンサーからウェブサービスに同期する最も簡単な方法です。同期の詳細については、[「同期」](#)でご確認ください。

Flowアプリの機能に関するさらに詳しい情報や手順は、[Polar Flowアプリ製品サポートページ](#)をご覧ください。

POLAR FLOWウェブサービス

Polar Flowウェブサービスは、トレーニングの内容を詳しく分析。自分のパフォーマンスをさらに深く把握することができます。

コンピューターからflow.polar.com/startに接続しVerity Senseの設定を実行できます。ウェブサービスのユーザーアカウントを作成し、センサーとウェブサービス間のデータ同期に使用するFlowSyncソフトウェアをダウンロードおよびインストールするよう指示が表示されます。モバイルデバイスとPolar Flowアプリを使用して設定を行った場合、設定時に作成したアカウント情報を使用してFlowウェブサービスにログインできます。

「ダイアリー」

ダイアリーでは、トレーニングセッションの予定(トレーニング目標)や、過去のトレーニングの結果を確認できます。

レポート

レポートでは、あなたの進捗状況を表示します。

トレーニングレポートは、長期間におけるトレーニング中のあなたの進捗状況をモニタリングでき、とても便利です。特定のスポーツの週、月、年ごとのレポートを選べます。期間を選ぶ欄では、スポーツの種類と時間枠の両方を選択できます。レポートを希望する時間枠とスポーツをドロップダウンメニューから選択します。ネジのアイコンを押しレポートグラフで表示させたいデータ項目を選びます。

プログラム

Polar ランニングプログラムは、Polar 心拍ゾーンやあなた個人の傾向やトレーニング頻度を考慮しつつ、カスタマイズしたプランであなたを目標達成に導きます。この高度なプログラムには、あなたの進捗状況の経過が反映されます。Polar ランニングプログラムは、5k、10k、ハーフマラソン他マラソンイベントで利用できます。プログラムにより違いはありますが、各週2-5種のエクササイズプランを提供します。利用方法はとても簡単です。

Polar Flowウェブサービス使用についてのサポートおよび詳細情報は、support.polar.com/ja/polar_flow_web_serviceよりご確認ください。

同期中

Bluetooth接続を介して、Verity SenseからPolar Flowアプリにワイヤレスでデータを転送できます。または、USBポートかFlowSyncソフトウェアを使用して、Verity SenseとPolar Flowウェブサービスを同期できます。Verity SenseとFlowアプリ間でのデータ同期には、Polarアカウントが必要です。Verity Sense上のデータをウェブサービスに直接同期させるには、PolarアカウントとFlowSyncソフトウェアの両方が必要となります。Verity Senseの設定が完了している方のPolarアカウントは、すでに作成済みです。コンピュータを使ってVerity Senseの設定をした場合は、コンピューターにFlowSyncソフトウェアがすでにインストールされています。

Verity Sense、ウェブサービス、モバイルアプリ間でデータを同期し、常に最新の状態にしておくことを忘れないでください。

FLOWモバイルアプリと同期する

同期する前に以下をご確認ください：

- PolarアカウントとFlowアプリを所有していること。
- モバイルデバイスのBluetoothがオンで、フライトモードがオフになっていること。
- モバイルデバイスとセンサーがペアリング済みであること。詳しくは[ペアリング](#)の章をご確認ください。

データの同期：

1. お使いのPolarアカウントでFlowアプリにサインインします。
2. ボタンを押して、電源をオンにします。



スマートフォンがBluetooth接続圏内にある場合、トレーニングセッションの記録が終わるとセンサーがPolar Flowアプリと自動的に同期します。スマートフォンがインターネットに接続されている場合も、トレーニングデータは自動的にFlowウェブサービスに同期されます。

Polar Flowアプリの使用についてのサポートおよび詳細は [Polar Flowアプリ製品サポートページ](#)をご参照ください。

FLowsyncを介してFlowウェブサービスと同期する

Polar Flowウェブサービスとデータを同期するには、FlowSyncソフトウェアが必要です。同期する前に、flow.polar.com/startからダウンロードおよびインストールを実行してください。

1. センサーとUSBアダプタがしっかりはまるよう、レンズを上向きにしてセンサーをUSBアダプタに入れます。
2. USBアダプタをコンピュータのUSBポートに接続します。FlowSyncソフトウェアが起動していることを確認してください。
3. FlowSyncウィンドウがコンピュータ上で開き、同期が開始します。
4. 完了すると、「完了」と表示されます。

Verity Senseをコンピュータに接続すると毎回、Polar FlowSyncソフトウェアがデータをPolar Flowウェブサービスに転送し、変更を加えた設定内容が同期されます。同期が自動的に開始されない場合は、デスクトップアイコン(Windows)またはアプリケーションフォルダ(Mac OS X)からFlowSyncを開始します。ファームウェアのアップデートが公開されると、FlowSyncによって通知され、インストールが求められます。



センサーとコンピュータが接続状態にある時、Flowウェブサービスの設定変更をした場合、FlowSync上の「同期」をクリックすると設定の変更が腕時計にも同期されます。

Polar Flowウェブサービスの使用についてのサポートおよび詳細は、support.polar.com/ja/polar_flow_web_serviceでご確認ください。

FlowSyncについてのサポートおよび詳細情報は、support.polar.com/ja/FlowSyncよりご確認ください。

重要情報

バッテリー

製品が寿命に達し廃棄する際は、Polarは自然環境や健康面への配慮から影響を最小限に抑えるため、現地の廃棄物処理規則に従って適切な処分を行うことを推奨しています。可能であれば、電子機器専用の収集場所にて手続きを行ってください。本製品を普通ごみとして廃棄しないでください。

電池の充電

Verity Senseには、充電可能な電池が内蔵されています。充電式電池の充電回数には限りがあります。電池を500回以上充電および放電すると、容量が著しく低下します。充電可能回数は、使用および動作状況によっても変化します。



充電前に、Verity SenseとUSB充電アダプターの接点に、水気、ほこりなどの汚れがないことをチェックしてください。汚れや湿気は優しく拭き取ってください。センサーが濡れているときは充電しないでください。



温度が0°C (+32°F) 以下/40 °C (+104 °F) 以上の環境、またUSBポートが濡れている状態で、デバイスを充電しないでください。

アダプターを電源につなげる前に、センサー本体にUSB充電アダプターを接続してください。センサー本体無しで、USB充電アダプターだけを電源に接続したままにしないでください。

本製品に同梱の専用USB充電アダプターを使用し、お使いのコンピュータのUSBポートにつないで充電します。壁のコンセントにつなげて充電することもできます。壁のコンセントから充電する場合は、USB電源アダプター(これは付属品には含まれません)を使用してください。

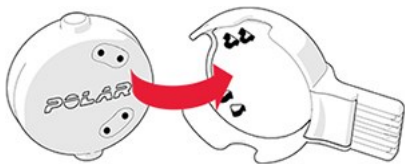
コンセントからも充電できます。その場合は、USB電源アダプタ(別売り)を使用してください。USB電源アダプタを使用している場合、アダプタに「出力5VDC」の刻印があり、500mA以上に対応していることをご確認ください。適切な安全認証を取得済みのUSB電源アダプタ(「LPS」、「Limited Power Supply」、「UL listed」または「CE」の刻印のある)のみを使用してください。



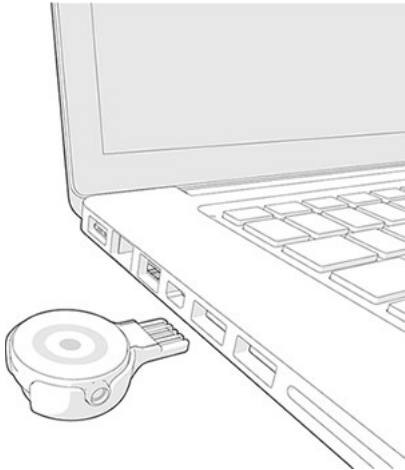
9V充電器を使用してPolar製品を充電しないでください。9V充電器を使用すると、Polar製品が損傷するおそれがあります。

コンピュータでの充電方法は、Verity Senseをコンピュータに接続するだけです。充電しながらFlowSyncと同期させることも可能です。

1. センサーとUSBアダプタがしっかりとハマるよう、レンズを上向きにしてセンサーをUSBアダプタに入れます。



2. USBアダプターをコンピュータのUSBポートに接続するか、USB電源ソケットに差し込みます。



バッテリーが完全に空の状態では、充電が開始するまでに数分かかる場合があります。



長時間電池を空のままにしたり、常に満充電にしたりしないでください。電池の寿命に悪影響を及ぼすおそれがあります。

POLAR VERITY SENSEのお手入れ方法

一般的な電化製品と同様に、Polar Verity Senseも清潔に保ち、丁寧にお取り扱いください。以下の手順は、保証義務を実行し、デバイスを良好の状態に保ち、充電または同期時に起こりうる問題を避けることに役立ちます。

POLAR VERITY SENSEを清潔に保つには

トレーニングセッションを終える度に、センサーをぬるま湯で洗ってください。センサーは耐水性があり、電子部品を損傷することなく水道水で洗うことができます。必要に応じて、センサーを低刺激石鹼と水溶液で洗浄します。アルコールや研磨剤(スチールウールや洗浄用の化学薬品)は絶対に使用しないでください。

トレーニングセッションを終える度に、アームバンドをぬるま湯で洗ってください。アームバンドは洗濯機で洗えます。詳しくは、アームバンドのラベルに記載のお手入れ方法を確認して下さい。洗濯ネットの使用を推奨します。漂白剤や柔軟剤は使用しないでください。

洗浄前に、センサーをアームバンドから必ず外してください。

ホルダーの穴からセンサーを押し出して、簡単に外すことができます。



充電と同期がスムーズに実行するよう、センサーとUSBアダプターの充電接点を常に清潔に保ってください。

センサーの酸化や塩水(汗や海水など)や汚れによるその他の損傷を防ぐため、センサーの充電接点を清潔に保ってください。



充電前に、センサーとUSBアダプターの充電接点に水気、ほこりなどの汚れがないことを確認してください。汚れや湿気は優しく拭き取ってください。尖った工具を清掃に使用しないでください。製品を傷つける恐れがあります。センサーが濡れているときは充電しないでください。

光学式心拍センサーの手入りを適切に行ってください。

光学式センサー部分を清潔に保ち、また傷がつかないように気をつけてください。傷や汚れにより、光学式心拍数測定のパフォーマンスが低下します。

センサー着用部位に香水やローション、日焼け止め、虫除けスプレーを使用しないでください。センサーが上記の物質、またはその他の化学薬品に触れた場合は、低刺激石鹸と水溶液で洗い、流水でよくすすいでください。

保管

トレーニングデバイスは、涼しく乾燥した場所に保管してください。湿気の多い場所で保管しないでください。また通気性のない素材(プラスチックバックまたはスポーツバック)や濡れたタオルのように通電性の高いものと一緒にしないでください。車に放置したり、バイクマウントに取り付けたままにしたりするなど、トレーニングデバイスを長時間直射日光にさらさないでください。トレーニングデバイスは一部または完全に充電した状態で保管することが推奨されます。保管中も電池は少しずつ消耗します。トレーニングデバイスを数か月間使用せずに保管する場合は、数か月ごとに充電することが推奨されます。これにより電池寿命が延びます。

デバイスを寒暖の極端な場所(-10 °C/14 °F未満の温度、また、50 °C/120 °Fを超える温度)に置いたり、直射日光に晒さないでください。

アフターサービス

2年間の保証期間中は、認定Polarサービスセンターにのみ、製品修理等を依頼されることをお勧めします。Polar Electroの指定サービスセンター以外で修理したことによる損傷、またはそれに起因する間接的な損傷は保証の対象になりません。詳しくは、Polar制限付き国際保証(Limited International Polar Guarantee)をご参照ください。

連絡先情報およびPolarサービスセンターの所在地については、support.polar.com および各国のウェブサイトアクセスしてください。

注意事項

Polar Verity Senseは、心拍数を測定するツールです。その他の目的での使用は、意図するものではありません。

このセンサーは、専門的または産業的レベルの精度を要する環境測定値を得る目的では使用できません。

アームバンドの汚れによる肌への悪影響を避けるため、定期的にデバイスとアームバンドを洗浄することを推奨します。

トレーニング中の影響

電磁波による干渉とトレーニング器具

電気機器の付近では誤作動が起こる可能性があります。またトレーニングデバイスを使ってトレーニングする際に、WLANベースステーションがある場合、干渉が起きる可能性もあります。異常な読み取り値または誤作動を避けるために、誤動作の原因になる可能性のあるものからできるだけ離れてください。

LEDディスプレイ、モーター、電気ブレーキなどの電子・電氣的な性質を伴う部品を搭載したトレーニング器具は、電波干渉を引き起こす信号を発信するおそれがあります。

トレーニングデバイスとトレーニング器具との互換性に不具合が生じた場合、電磁波ノイズが、ワイヤレス心拍数測定機能に影響を及ぼしている可能性があります。

健康とトレーニング

トレーニングには、いくつかのリスクが含まれる可能性があります。継続的なトレーニングプログラムを開始する前に、現在の健康状態に関する以下の質問事項をご確認ください。次の質問のいずれかが「はい」の場合は、トレーニング開始前に医師に相談されることをお勧めします。

- あなたは過去5年間以上、ほとんど身体的な運動をしていない状況ですか？
- 高血圧、または血中コレステロール値が高いですか？
- 高血圧治療薬または心臓関連の医薬品を服用していますか？
- 呼吸器系の既往歴がありますか？
- 何か病気の症状がありますか？
- 深刻な病気または治療からの回復中ですか？
- ペースメーカーまたはその他の埋め込み型電子機器を使用していますか？
- 喫煙しますか？
- 妊娠中ですか？

トレーニング強度に加え、心臓疾患の治療薬、血圧、身体的状態、喘息、呼吸、エナジードリンク、アルコール、ニコチン等も心拍数に影響を与える場合があります。

トレーニング中は、身体の状態の変化に注意を払うことが重要です。トレーニング中に急な痛みや過度な疲れを感じる場合は、トレーニングを直ちに中止するか、強度を下げて継続することをお勧めします。

注意！ ペースメーカー他体内埋め込み式の電子インプラントなどを使用している場合も、Polar製品をご使用いただけます。理論上は、Polar製品がペースメーカーに影響を及ぼすことはありません。また実際に、これまで電波干渉を経験したという報告例はありません。しかしながら、ペースメーカー他体内埋め込み式の電子インプラント等のデバイスの種類が多岐にわたるため、すべての製品との適合性を正式に保証することはできません。問題が疑われる場合、またはPolar製品使用中に通常と異なる感覚を経験した場合は、かかりつけの医師に相談するか、埋め込み式医療機器のメーカーにお問い合わせの上安全性をご確認ください。

接触性の皮膚アレルギー反応、本製品の使用によりアレルギー反応を起こしたと思われる場合は、[技術仕様](#)に記載されている使用素材をご確認ください。皮膚に異常を感じた場合は製品の使用をやめ、すみやかに医師にご相談ください。また、皮膚反応を起こした場合はPolarカスタマーケアにご報告ください。



湿気や強い摩擦により、心拍センサーやリストバンドから、淡色の衣服に色移りすることがあります。同様に濃い色の衣服から、淡色のトレーニングデバイスに色移りする可能性もあります。淡色のトレーニングデバイスの変色を抑え、



長くお使いいただくために、トレーニング時は色移りのしないウェアを着用してください。香水やローション、日焼け/日焼け止め製品、虫除けスプレーを皮膚につける際は、トレーニングデバイスまたは心拍センサーに付着しないよう注意してください。低気温の環境(-20℃~-10℃/-4°F~14°F)で使用する際は、トレーニングデバイスを、ジャケットの袖の中の皮膚に、直接着用することを推奨します。

注意

この製品は玩具ではありません。お子様、またペットの手のふれない所に常に保管してください。この製品には、窒息の原因となる小さな部品が使われています。

POLAR製品を安全にご利用いただくために

データセキュリティの更新は、公表されている製品の取り扱い期間終了日から2年間実行されます。Polar製品を定期的に更新し、Polar Flowモバイルアプリ、またはPolar FlowSyncから新しいファームウェアのバージョン更新情報が届き次第、すぐに更新を行ってください。

Polarデバイスに保存されているトレーニングセッションデータ、またその他のデータは、氏名、身体や健康状態に関する情報、位置情報などの機密データを含みます。位置情報はトレーニングをいつ行っているか、また通常使っているルートなどを記録するためのデータです。この保存情報の性質上、デバイスを使わない時(保管時)には、十分に注意を払ってください。

手首装着式のデバイスでスマート通知を使用する際、各種アプリからのメッセージがデバイス画面に表示されますので、ご注意ください。最新メッセージはデバイスのメニューからも閲覧できます。プライベートメッセージの機密性を保つために、スマート通知機能をオフにすることをお勧めします。

デバイスを品質テストや売却等の目的で第三者に受け渡す際は、デバイスを工場出荷状態にリセットし、ご利用中のPolar Flowアカウントから当該デバイスを削除する必要があります。PCからFlowSyncソフトウェアにアクセスし、工場出荷状態にリセットすることができます。工場出荷状態にリセットすると、デバイスのメモリが消去され、そのデバイスからはあなたのデータにアクセスできなくなります。ご利用中のPolar Flowアカウントからデバイスを削除するには、Polar Flowウェブサービスにまずサインインし、製品を選択、削除したい製品の横の「削除」ボタンをクリックします。

同内容のトレーニングセッションデータは、モバイルデバイスのPolar Flowアプリにも保存されています。厳密認証を設定する、デバイスを暗号化するなど、モバイルデバイスの設定を変更するなどの様々な方法で、セキュリティを強化することもできます。これらのオプションを有効化する詳しい方法は、モバイルデバイスのユーザーマニュアルをご参照ください。

Polar Flowウェブサービスご利用の際は、12文字以上のパスワードを設定することをお勧めします。Polar Flowウェブサービスを共有コンピューターでご利用の際は、キャッシュや閲覧履歴の消去を忘れずに。他者のあなたのアカウントへの不正アクセスを防ぐ為です。また、共有コンピューター利用時は、ブラウザにPolar Flowウェブサービスでお使いのパスワードを保存・記憶させないでください。

その他のセキュリティに関する問題は、[security\(a\)polar.com](mailto:security(a)polar.com) またはPolarカスタマーケアまでご申告ください。

技術仕様

POLAR VERITY SENSE

動作時間:	継続トレーニング最長20時間 16日間(1日に1時間のトレーニングを実行した場合)
電池タイプ:	45 mAh リチウムポリマー充電式電池
メモリ容量:	最大600時間のトレーニング

Bluetooth 伝送範囲:	最大150m(障害物の無いオープンエリアでホルダー使用時) 最大20m(ホルダー不使用時)
動作温度:	-20°C ~ +60°C / -4°F ~ 140°F
素材:	<p>センサー</p> <p>ABS(アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン)、ABS+GF(GF強化アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン)、PMMA(ポリメタクリル酸メチル)、SUS 316(ステンレススチール)</p> <p>アーム/バンド</p> <p>ホルダー: PA(ポリアミド)、SUS 316(ステンレススチール)</p> <p>アーム/バンド: ポリエステル71%、スパンデックス29%</p> <p>ファスナー: ポリアミド</p> <p>バックル: 亜鉛合金</p> <p>お手入れ方法: ポリエステル100%</p> <p>スイミングゴーグルストラップクリップ</p> <p>PA(ポリアミド)、SUS 316(ステンレススチール)</p> <p>USBアダプタ素材</p> <p>PC(ポリカーボネート) + ABS(アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン)、SUS 301(ステンレススチール) ゴールドプレート</p>
防水性:	50 m(水中また水泳時も使用可能)

ワイヤレスBluetooth®およびANT+™テクノロジーを使用

POLAR FLOWSYNCソフトウェア

FlowSyncソフトウェアを使用するには、インターネット接続環境とUSBポートを備えた、Microsoft WindowsまたはMacを搭載したコンピュータが必要です。

support.polar.comで、互換性に関する最新情報をチェックしてください。

POLAR FLOWモバイルアプリケーションの互換性

support.polar.comで、互換性に関する最新情報をチェックしてください。

POLAR製品の防水性

ほとんどのPolar製品は、水泳時に着用できます。しかし、ダイビング機器ではありません。防水性維持のため、水中でボタンを押さないようにしてください。

手首での心拍計測機能付きPolarデバイスはスイミング他水中でもご利用いただけます。水泳中も手首の動きからアクティビティデータを収集することができます。しかし、弊社によるテストでは、手首による心拍数測定は水中では正しく機能しないといった結果が出ています。そのため、水泳時は、手首による心拍数測定は推奨されません。



腕時計の産業規格の防水性は、通常、水圧のメートルで表示されますが、これはそのレベルでの水の静圧になります。Polarはこれと同じ表示体系を使用しています。Polar製品の耐水性は、国際規格ISO 22810またはIEC60529に基づきテストされています。耐水性に関する表示のあるすべてのPolarデバイスは、出荷前に水圧に耐えることがテストされています。

Polar製品は、耐水性によって4つの異なるカテゴリに分類されます。Polar製品裏面の耐水カテゴリを確認し、以下の図を参照してください。なおこの定義は、他のメーカーの製品には該当しない場合があります。

水中で活動を実施する際は、水中での動きにより生み出される動圧が静圧よりも大きいです。つまり、水中で製品を動かすことにより、製品は静止状態で受ける圧力よりも大きな圧力を受けます。

製品の裏側の印	水滴、汗、雨滴など。	入浴および水泳	シュノーケルによるスキンドайビング (酸素ボンベなし)	スキューバダイビング (酸素ボンベあり)	耐水性の説明
耐水性IPX7	OK	-	-	-	高圧洗浄機で洗わないでください。 水滴、雨などから保護されています。 参照規格: IEC60529
耐水性IPX8	OK	OK	-	-	入浴や水泳のみ使用可能。 参照規格: IEC60529。
耐水性 耐水性 20/30/50 m 水泳に使用可能	OK	OK	-	-	入浴や水泳のみ使用可能。 参照規格: ISO22810
耐水性 100 m	OK	OK	OK	-	水中で使用できますが、スキューバダイビングには使用できません。 参照規格: ISO22810

規制関連情報

	<p>本製品は指令2014/53/EU、2011/65/EUおよび2015/863/EUに準拠しています。各製品に関する適合宣言書およびその他の規制情報は、www.polar.com/ja/regulatory_informationでご確認いただけます。</p>
	<p>WEEE指令の適用表示マークがついたPolar製品は、廃電気電子機器 (Waste Electrical and Electronic Equipment、WEEE) に関する欧州議会及び理事会 (the European Parliament and of the Council) の指令2012/19/EUが定める電気装置であることを示しています。Polar製品が使用する電池および蓄電池は、欧州議会及び理事会 (the European Parliament and of the Council) の指令2006/66/EC (2006年9月6日) に定められた「電池・蓄電池廃棄電池の廃棄」に定められた規定内で製造された電池および蓄電池であることを示しています。これらの製品と電池・蓄電池は、EU諸国では分別して廃棄する必要があります。Polarは、現地の廃棄物規則に従うことにより、欧州連合の外でも環境および人間の健康に対する廃棄物の影響を最小化し、可能な場合は、製品の電子機器の分別収集、電池と蓄電池に対する収集を利用することを奨励します。</p>

LIMITED POLAR INTERNATIONAL GUARANTEE(制限付きPOLAR国際保証)

- Polar製品に対し、Polar Electro Oyにより制限付き国際保証が付与されます。アメリカ又はカナダで販売されている製品に対しては、Polar Electro, Incにより保証が付与されます。
- Polar Electro Oy / Polar Electro Inc. はPolar製品の元の消費者/購入者に対し、懸かる製品はその素材および製造品質において欠陥が無いことを、購入日から2年間保証します。但し、シリコン又はプラスチック製のリストバンドについては例外とし、保証期間を購入日から1年間とします。
- 本保証は、電池の通常の使用による摩耗、又はその他の通常の使用による摩耗、誤使用または不適切な使用、事故、あるいは注意事項を順守しなかったことを原因とする破損；不適切なメンテナンス、商業目的の使用、ケース、ディスプレイ、布製アームバンド、布製/皮革製リストバンド、伸縮性ストラップ(例：心拍センサーチェストストラップ)、Polarアパレル製品のひび割れや破損、キズには適用されません。
- 本保証は、製品による、または製品に関連する直接的・間接的または事故による、結果又は特別損害による損失、保障の費用には適用されません。
- 中古で購入した製品に対しては本保証は適用されません。
- 保証期間中は購入した国に関係なく、Polar認定セントラルサービス窓口にて、製品の修理または交換サービスが受けられます。Polar Electro Oy/Inc.により付与される保証は、製品を購入・使用する地域、国の法規が定める消費者の法的権利を侵害するものではありません。
- また、販売・購入の際に交わされる契約をもとにした販売者に対する消費者の権利を侵害するものでもありません。
- 購入の証明として領収書を大切に保管してください。製品に関する保証は、製品がPolar Electro Oy/Inc.により正規に市販された国に限定されます。

製造元：Polar Electro Oy, Professorintie 5, FI-90440 KEMPELE, www.polar.com.

Polar Electro Oyは、ISO 9001:2015認証会社です。

© 2021 Polar Electro Oy, FI-90440 KEMPELE, Finland. All rights reserved. Polar Electro Oyの許可なく本マニュアルの複写、転写することは禁じられています。

このユーザーマニュアルまたはこの製品のパッケージに使用される本製品の名称およびロゴは、Polar Electro Oyの商標です。このユーザーマニュアルまたは製品パッケージの®マーク付きの名称およびロゴは、Polar Electro Oyの登録商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標であり、Mac OSはApple Inc.の登録商標です。Bluetooth®の文字標記およびロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Polar Electro Oyによるこれら表記の使用はライセンスに基づくものです。

免責条項

- このマニュアルの資料は情報提供のみを目的としたものです。製造側の開発プログラムの進行とともに、事前通知なしに係る製品が変更することがあります。
- Polar Electro Inc./Polar Electro Oyは、本マニュアルまたは本書に記載された製品に関して、いかなる保証もいたしません。
- Polar Electro Inc. / Polar Electro Oyは、本マニュアルあるいは本書に記載された製品の使用による直接的・間接的あるいは事故による、結果的あるいは特別な行為による損失、故障を保証いたしません。

1.0 JA 02/2021